

### 佐賀保育所クリスマスツリー飾り付け

12月5日(木)、佐賀保育所の園児19名が土佐入野駅でクリスマスツリーの飾り付けを行いました。

飾り付けは、「駅に訪れた人に季節を感じて楽しんでもらい、また、子どもたちに鉄道に興味を持ってもらいたい」と土佐くろしお鉄道が実施し、サンタクロースと同鉄道のイメージキャラクター「サニーくん」も参加しました。



飾り付けをする園児

歌を披露しました。サンタクロースからお礼のプレゼントをもらい、クリスマスのお楽しみをしました。



列車から景色を眺める園児ら

### 農業体験

11月23日(土)、蜷川地区で黒潮若手の会による「農業体験」が開催され、25名の参加者がサツマイモを収穫しました。

同体験は、「農業を楽しく学び、子どもたちが成長したとき、農業を仕事の選択肢の1つにしてほしい」と小学生を対象に開催。参加者は6月にサツマイモの植え付け、8月に草引きをゲームやクイズなどを交え楽しみながら体験しました。



サツマイモ掘りを楽しむ参加者  
(写真提供:黒潮若手の会)

また、今年度は「ふるさと・キャリア教育」の一環として、町農業振興課が町の農業について説明するなど学習の機会も持たれました。参加した子どもたちは、「農業のことをたくさん知れた」、「また来年も参加したい」と話しました。同会の橋田道法(みちのり)さんは、「この体験を通して、子どもたちや保護者の方が農業について考えるきっかけになれば嬉しい」と話しました。

### 佐賀北部お茶会

11月25日(月)、集落活動センター佐賀北部でお茶会イベントが開催され、高知大学地域協働学部の学生と住民11名が参加しました。

同大学では課外授業の一環として生徒が同センターで活動し、生徒の呼びかけでパッチワーク教室が実施されるようになりました。その教室内で、「茶道を学んでみたい」という声が上ががり、拳ノ川地区で茶道教室を開く鳥羽陸美(とばりつみ)先生らが講師となり開催が決まりました。



指導を受けお茶を楽しむ参加者

同大学4年生の松本七海(ななみ)さんは、「私たちが発案したパッチワーク教室からこのようなイベントに繋がったことが嬉しい。私はこれから社会人になるが、ここで経験したことを活かして頑張りたいと思う」と話しました。参加者は、「とても優雅で贅沢な気持ちになった。所作やおもてなしの勉強にもなったので、また開催してほしい」と話しました。

### 大方中央保育所の園児がお餅つき

12月6日(金)、大方中央保育所の園児が餅つきを行いました。園児らは、「ヨイショ」の掛け声に合わせて一生懸命杵を下ろしました。その後、つきたての餅を丸めて食べ、「美味しい」、「やわらかい」などと声を上げていました(表紙写真)。



餅をほおばる園児

### しめ縄作り

12月13日(金)、あったかふれあいセンターこぶし、集落活動センター佐賀北部、高知大学地域協働学部の合同企画でしめ縄作りが行われました。

参加者は藁をねじってまとめ、祝い鶴やナンテンの実などを飾り付け、できあがったしめ縄を見て「良いお正月が迎えられそう」と笑顔で話しました。



できあがったしめ縄